



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **HPE Primera 4.0 : コマンドラインインターフェイスのインストール**

### **摘要**

このリファレンスでは、HPE Primera CLI リモートクライアントのインストール詳細を説明します。

部品番号: P23111-191  
発行: 2019 年 9 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Optane<sup>®</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Xeon<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe<sup>®</sup>および Acrobat<sup>®</sup>は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java<sup>®</sup>および Oracle<sup>®</sup>は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Group の登録商標です。

## 改訂履歴

部品番号	発行日	版	変更の概要
P23111-191	2019 年 9 月	1	初回リリース

# 目次

<b>HPE Primera CLI アクセスオプション</b> .....	<b>4</b>
<b>HPE Primera CLI リモートクライアントのインストール</b> .....	<b>5</b>
HPE Primera CLI リモートクライアントインストールのリモートホスト仕様.....	5
SPOCK での HPE Primera CLI リモートクライアントサポートマトリックスへのアクセス.....	5
HPE Primera CLI リモートクライアントのインストール準備.....	6
HPE Primera CLI リモートクライアントのダウンロード.....	6
Windows 環境での HPE CLI リモートクライアントのインストール.....	7
CLI リモートクライアントインストールのための Windows 応答ファイルの作成.....	7
Microsoft Windows での HPE CLI リモートクライアントのサイレントインストール.....	8
UNIX または Linux 環境での HPE Primera CLI リモートクライアントのサイレントインストール.....	8
HPE Primera CLI インストールのための UNIX または Linux 応答ファイルの作成.....	9
UNIX 環境や Linux 環境での HPE Primera CLI リモートクライアントのサイレントインストール.....	9
<b>Web サイト</b> .....	<b>11</b>
<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>12</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	12
アップデートへのアクセス.....	12
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	13
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	13
保証情報.....	13
規定に関する情報.....	13
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	14

# HPE Primera CLI アクセスオプション

ご利用になる HPE Primera ストレージシステムには納品された時点で、インストール済みの HPE Primera OS に HPE Primera CLI が含まれています。サポートされているホストシステムから HPE Primera CLI に、Secure Shell (SSH) と HPE Primera CLI リモートクライアントのいずれかを使用してアクセスできます。Hewlett Packard Enterprise では、HPE Primera ストレージ管理目的の場合は SSH を使用して HPE Primera CLI にアクセスすることをお勧めします。

## Secure Shell (SSH) クライアントアプリケーション

HPE Primera で最もサポートされているホストオペレーティングシステムには、HPE Primera CLI にアクセスするために使用する SSH クライアントアプリケーションが含まれています。ただし Microsoft Windows は別で、SSH クライアントをインストールする必要があります。SSH を使用すれば、HPE Primera CLI の新たなインストールやセットアップの必要はありません。

他の SSH アクセスの利点として、以下があります。

### セキュリティ

- ・ **暗号化** - SSH が強力な対称鍵暗号化を使用して、クライアントとサーバーの間で交わされるすべての情報を暗号化します。SSH では、暗号化されたパスワードも使用できます。
- ・ **サーバー認証** - SSH では、公開鍵または秘密鍵をサーバー認証で使用できます。さらに、SSH では公開鍵をクライアントマシンで保存できるため、SSH クライアントはアクセスを許可する前にサーバーから提示された鍵を比較できます。
- ・ **ユーザー認証** - SSH では、公開鍵または秘密鍵をユーザー認証で使用できます。

### データ整合性

SSH が整合性チェックを使用して、送信者から受信者への転送中にデータの改変が行われていないことを検証します。

### 互換性

SSH には、HPE Primera CLI クライアントがインストールされていないため、クライアントとサーバー間の互換性の問題がありません。

## HPE Primera CLI リモートクライアント

HPE Primera CLI は、HPE Primera 以外のホストシステムから HPE Primera ストレージシステムへのリモートアクセスもサポートします。HPE が提供する CLI クライアントは、各リモートホストでのインストールを必要とします。HPE Primera CLI リモートクライアントを使用する場合は、各ホストでの個別のインストールが必要です。

# HPE Primera CLI リモートクライアントのインストール

## HPE Primera CLI リモートクライアントインストールのリモートホスト仕様

リモートホストの仕様には、ソフトウェアライセンス、ホストシステムハードウェアのシステム要件、HPE Primera CLI リモートクライアントに関連した他の情報が含まれます。サポートされているホストオペレーティングシステムおよびバージョンについて、[SPOCK での HPE Primera CLI リモートクライアントサポートマトリックスへのアクセス](#)を参照してください。

❗ **重要:** HPE Primera CLI の複数のインストール、アンインストール、または実行は、同時には行わないでください。これを行うと、システムが誤動作する可能性があります。

### ライセンス

HPE Primera オペレーティングシステムライセンスバンドルには、CLI リモートクライアントのライセンスが含まれています。CLI リモートクライアントをダウンロードするには、サポート契約 ID (SAID) を入力する必要があります。

### システム要件

- ・ 1.0 GHz 以上のプロセッサ
- ・ 1GB の内蔵 RAM (2GB 推奨)
- ・ CD または DVD ドライブ (CD からインストールする場合)
- ・ 1024 x 768 以上の画面解像度

### デフォルトのソフトウェアインストール先

HPE Primera は次のデフォルトのインストール場所を使用します。

#### Microsoft Windows

- ・ 32 ビットシステム : C:\Program Files\Hewlett Packard Enterprise\HPE 3PAR CLI
- ・ 64 ビットシステム : C:\Program Files (x86)\Hewlett Packard Enterprise\HPE 3PAR CLI

#### UNIX および Linux

/opt/hpe\_3PAR\_cli

## SPOCK での HPE Primera CLI リモートクライアントサポートマトリックスへのアクセス

### 手順

1. HPE Passport アカウントを使用して任意のブラウザから [SPOCK](#) にログインします。

HPE Passport アカウントをお持ちでない場合は、SPOCK ログインページでアカウントを作成できません。

2. SPOCK Home ページの左ナビゲーションペインで、**Software** までスクロールダウンして、**Array SW: Primera** をクリックします。
3. HPE Primera Software ウィンドウで、**HPE Primera Operating System Software** を選択して、**HPE Primera CLI Remote Client** をクリックします。

## HPE Primera CLI リモートクライアントのインストール準備

1. **HPE Primera CLI リモートクライアントをダウンロードします。**
2. サポートされている最新のリモートクライアント用オペレーティングシステムを見つけてください。**SPOCK での HPE Primera CLI リモートクライアントサポートマトリックスへのアクセス**を参照してください。
3. 必須および推奨のすべてのパッチやサービスパックで、リモートクライアントのオペレーティングシステムを更新します。
4. 64 ビット Linux システムでは、32 ビット版の `zlib` および `glibc` とその依存パッケージを含め、32 ビット互換ライブラリをインストールします。以下に例を示します。

```
# rpm -Uvh zlib-<version>.el6.i686.rpm glibc-<version>.el6.i686.rpm nss-softokn-freebl-<version>.el6.i686.rpm
```

5. 以前のバージョンの HPE Primera CLI を削除します。
6. HPE Primera CLI & SNMP ダウンロードのパッケージに含まれる HPE Primera CLI のインストール `readme` ファイルを確認します。すべてのプラットフォームで同じダウンロードを使用しますが、インストールファイルはサポート対象プラットフォームごとに異なります。
7. ホストまたはリモートシステムが最小システム要件を満たしていることを確認します。**HPE Primera CLI リモートクライアントインストールのリモートホスト仕様**を参照してください。
8. ファイアウォールを構成します。
9. すべてのアクティブな HPE Primera CLI セッションを終了します。
10. ウイルスチェックソフトウェアを無効にします。

## HPE Primera CLI リモートクライアントのダウンロード

### 前提条件

- ・ HPE サポート契約に記載されているサポート契約 ID (SAID)。
- ・ HPE Passport の認証情報。

### 手順

1. ホストシステムから、HPE Passport アカウント情報を使用して、**HPE ソフトウェアアップデート&ライセンス (SU&L)** ポータルにログインします。
2. SAID 番号をリストから選択するか、またはテキストボックスに SAID を入力します。
3. 使用契約条件を確認してから、受諾を示すボックスを選択します。
4. **利用可能な製品を表示**をクリックします。

5. HPE Primera OS バージョンを検索テキストボックスに入力して、**検索**をクリックします。
6. 利用可能な製品のリストから、最新の HPE Primera OS バージョンを選択し、**Get software update** をクリックします。
7. 利用可能なダウンロードのリストから、**HPE Primera CLI SNMP ファイル**を選択し、**ダウンロード** をクリックします。  
.iso ファイルが現在のシステムにダウンロードされます。
8. .iso ファイルの名前と場所を記録します。

## Windows 環境での HPE CLI リモートクライアントのインストール

### 前提条件

インストールを開始する前に、**HPE Primera CLI をインストールするための前提条件**を完了します。

### 手順

1. .iso ファイル (**HPE ソフトウェアアップデート&ライセンス (SU&L)** ポータルからダウンロード) を見つけます (**HPE Primera CLI のダウンロード**を参照)。  
.iso ファイルが CD に書き込まれている場合は、CD を CD ドライブに挿入すると、インストールが自動的に開始します。  
インストールが自動的に開始しない場合、または .iso ファイルを直接使用する場合は、次の手順に進みます。
2. .iso ファイルをダブルクリックして開きます。
3. \cli\windows\フォルダーに移動し、setup.exe ファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従います。

## CLI リモートクライアントインストールのための Windows 応答ファイルの作成

ユーザーの操作を模倣する応答ファイルを使用して、HPE Primera CLI を複数の Windows システムでインストールまたはアンインストールできます。

応答ファイルには、ウィザードによって作成されてスクリプト化された要求に対する標準的な回答が含まれています。応答ファイルを作成するのは 1 度です。

### 手順

1. HPE Primera CLI をインストールまたはアンインストールするシステムで Windows コマンドプロンプトを開きます。
2. 以下のいずれかを選択します。

インストールの場合：

```
<D>:\cli\windows\setup.exe -r C:\cli_install_response.txt
```

アンインストールの場合：

```
<D>:\cli\windows\setup.exe -r C:\cli_uninstall_response.txt
```

3. 画面の指示に従います。

このプロセス中に入力した応答は、cli\_<install> | <uninstall>\_response.txt ファイルに自動的に保存されます。

4. C:\cli\_<type>\_response.txt に保存された応答ファイルを見つけます。

## Microsoft Windows での HPE CLI リモートクライアントのサイレントインストール

サイレントインストールでは、ユーザー入力は不要です。

### 前提条件

- ・ HPE Primera CLI をインストールするための前提条件を完了します。
- ・ インストール応答ファイルを作成します。

### 手順

1. Windows のコマンドプロンプトを開きます。
2. 次のコマンドを、作成したインストール応答ファイル名を使用して入力します。

```
\cli\windows\setup.exe -i silent -f C:\cli_install_response.txt
```

## UNIX または Linux 環境での HPE Primera CLI リモートクライアントのサイレントインストール

### 前提条件

インストールを開始する前に、HPE Primera CLI をインストールするための前提条件を完了します。

### 手順

1. ホストシステムでターミナルウィンドウを開きます。
2. root でログインします。
3. .iso ファイル (HPE ソフトウェアアップデート&ライセンス (SU&L) ポータルからダウンロード)を見つけます (HPE 3PAR CLI のダウンロードを参照)。
  - ・ .iso ファイルが CD に書き込まれている場合は、CD を挿入し、マウントします。
  - ・ .iso ファイルを直接使用する場合は、次の手順に進みます。
4. setup.bin ファイルと以下のいずれかのコマンドを使用して、インストールを開始します。
  - ・ **AIX** : # /cdrom/cli/aix/setup.bin
  - ・ **HP-UX** : # /cdrom/cli/hp-ux/setup.bin
  - ・ **Linux** : # /cdrom/cli/linux/setup.bin
  - ・ **Solaris x86** : # /cdrom/cli/solaris-ix86/setup.bin
5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。
6. インストールを完了するには、ホストシステムからログアウトし、ログインし直します。



デフォルトのインストール先は/opt/hpe\_3par\_cli です。

## HPE Primera CLI インストールのための UNIX または Linux 応答ファイルの作成

ユーザーの操作を模倣する応答ファイルを使用して、HPE Primera CLI リモートクライアントを複数の Linux または UNIX システムでインストールまたはアンインストールできます。

応答ファイルには、ウィザードによって作成されてスクリプト化された要求に対する標準的な回答が含まれています。応答ファイルを作成するのは1度です。

### 手順

1. ホストシステムでターミナルウィンドウを開きます。
2. root でログインします。
3. セットアップ応答ファイルは、-r オプションを使用して作成します。

```
# /cdrom/cli/[aix | hp-ux | linux | solaris | solaris-sparc | solaris-ix86]/  
setup.bin -r </full/path/to/cli_<install | uninstall>_response.txt>
```

4. 応答ファイルの場所を記録します。

## UNIX 環境や Linux 環境での HPE Primera CLI リモートクライアントのサイレントインストール

### 前提条件

- ・ HPE Primera CLI リモートクライアントをインストールするための前提条件を完了します。
- ・ セットアップ応答ファイルを作成します。

### 手順

1. ホストシステムでターミナルウィンドウを開きます。
2. root でログインします。
3. .iso ファイル (HPE ソフトウェアアップデート&ライセンス (SU&L) ポータルからダウンロード) を見つけます。
4. 該当するオペレーティングシステムのコマンドを入力します。

- ・ **AIX の場合 :**

```
# /cdrom/cli/aix/setup.bin -i silent -f </full/path/to/cli_setup_response.txt>
```

- ・ **HP-UX の場合 :**

```
# /cdrom/cli/hp-ux/setup.bin -i silent -f </full/path/to/cli_setup_response.txt>
```

- ・ **Linux の場合 :**

```
# /cdrom/cli/linux/setup.bin -i silent -f </full/path/to/cli_setup_response.txt>
```

- ・ **Solaris SPARC の場合 :**

```
# /cdrom/cli/solaris-sparc/setup.bin -i silent -f </full/path/to/cli_setup_response.txt>
```

・ **Solaris x86 の場合 :**

```
# /cdrom/cli/solaris-ix86/setup.bin -i silent -f </full/path/to/cli_setup_response.txt>
```

5. 画面の指示に従います。
6. ホストシステムからログアウトして、ログインし直します。  
デフォルトのインストール先は/opt/hpe\_3par\_cli です。

# Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<http://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<http://www.hpe.com/storage/whitepapers>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

### Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。